

# 令和３年度 山里小学校学力向上プラン

山里小学力向上部

## 1 学校教育目標

「やさしさと思いやりで 笑顔がいっぱい」

～本物の笑顔あふれる山里小～

誰ひとり取り残さない【本物の平和】の実現を目指す

「本物の学び」づくり・「本物の心」づくり・「本物の仲間」づくりを通して

## 2 重点努力事項（学力向上に関する事柄）

（１）学びの基礎力を身に付けさせる。

（２）新しい教育の形を模索する。

①山里小学びのスタイルの統一

②学習指導要領の理念を具現化する授業を創造

④学力向上対策・特別支援プロジェクトチームの提案の共通実践

## 3 学力向上の課題と具体的な取組

### （１）学習規律の確立

#### 【課題】

○ 「山里小学びのスタイル」の共通理解を図り、取組を徹底させる必要がある。

#### 《具体的な取組》

1 「山里小学びのスタイル」を継続的に指導し、実施 100%を目指す。

### （２）指導体制の充実

#### 【課題】

○ 全国・県・市平均と比較して全体的に正答率が高いが、低位児童の引き上げが必要。

#### 《具体的な取組》

1 必要に応じて別室で「取り出し指導」を実施する。

2 3～6年生の算数科の授業に「担任外の教員」が入ることにより、複数での指導体制を組み、個に応じたきめ細かな指導を展開する。（学年の実態に応じて「担任外の教員」が入る週あたりの時数は調整する。）

3 担任外の教員や児童支援担当教員などをコーディネートして、特別な支援が必要な児童の90%以上に対応する。

### （３）国・算の授業で取り組むこと

#### 【課題】

#### 《3年》

標準学力調査の結果から

○ 国語科では、書くこと（分かりやすく説明する）に課題が見られる。

○ 算数科では、量と測定（長さやかさ）において、単位の換算の習得が十分でない児童がいる。

○ 算数科では、数と計算（乗法の意味と活用）に課題を持つ児童がいる。

#### 《4年》

標準学力調査の結果から

○ 国語科では、書く能力（調べたことを文章にまとめる）に課題が見られる。

- 算数科では、思考・判断・表現力に課題が見られる児童が多い。学力調査の個人の結果からは、「1を使った式」「時刻と時間」に課題が多い。

#### 《5年》

##### 長崎県学力調査の結果から

- 国語科では、書くこと（相手や目的を意識した文章を書く）、話すこと（話の中心を意識し話し方を工夫する）に課題が見られる。
- 算数科では、数と計算（数の構成をもとに計算の仕方を記述する）、データの活用（組み合わせたグラフを読み取り説明する）に課題が見られる。

#### 《6年》

##### 全国学力学習状況調査の結果から

- 国語科では、書くこと、読むことにおける記述式に課題が見られる。
- 算数科では、図形（面積の求め方の説明）に課題が見られる。

#### 《具体的な取組》

- 1 低学年から基礎的な知識や技能をしっかりと身に付けさせる。
- 2 「問題文にアンダーラインを引く」「○(丸)で囲む」など、的確に読み取る方法を指導する。
- 3 一定の条件の中で文を書く活動を取り入れる。
- 4 具体的な根拠を明確にしながら言葉で説明したり、考えを深め合ったりする活動を取り入れる。
- 5 ゆめあこ（県）の問題に計画的に取り組ませる。
- 6 過去の学力調査問題に計画的に取り組ませる。（5・6年）

### （4）全教育活動で取り組むこと

#### 【課題】

- 基礎・基本の徹底と授業をさらに充実させる必要がある。
- 計画的な読書指導を推進する必要がある。

#### 《具体的な取組》

- 1 日々の授業実践の充実のために、「あじさいスタンダード」を活用する。
- 2 授業では、板書に「めあて」と「まとめ」を明記する。
- 3 「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善を行う。
- 4 ユニバーサルデザインに基づいた、授業や教室環境に努める。
- 5 学校図書館司書との連携を深め、読書の質の充実を図る。（朝の読書活動、ブックトーク、授業に関連した図書の収集・紹介）

### （5）家庭との連携

#### 【課題】

- 家庭学習をさらに充実させる必要がある。
- 夜遅くまで起きていたり、メディアの時間が長かったりする児童がいる。

#### 《具体的な取組》

- 1 「家庭学習ガイド」を保護者に配付するとともに、「家庭学習ガイド」に基づいて家庭学習を実施している学級を100%にする。
- 2 自主学習を奨励し、6年時に取り組む児童が60%を目指す。
- 3 PTAや学校保健委員会と連携し、「あははは運動」（山里小独自）「元気アップカード」「ノーメディアデー」等の取組を進め、児童の基本的な生活習慣の徹底を図るとともに家庭でのメディアに関するルールを決めることを推奨する。